

close-up

京都金柵

リフォーム工場開設

寝具製造卸の京都金柵(京都府亀岡市)は今年、創業90周年を迎えた。その節目の年に、羽毛ふとんのリフォーム工場を徳島県吉野川市に開設。サステイナブルなモノ作りの体制を整え、循環型社会に貢献する。



岡田社長

子会社で羽毛ふとんを生産する新樹エンタープライズ(亀岡市)の新工場として今秋開設した。昭和工業(東京都大田区)製の洗濯乾燥機2台をはじめ、吹き込み機や検針機をそろえ、日産30枚まで対応できる体制を整備中だ。羽毛ふとんを解体して取り出した羽毛を温水と専用洗剤で洗浄、乾



ふとんを解体して洗浄した羽毛



リフォーム工場(徳島県吉野川市)

燥させることで、膨らみのある羽毛に戻し、再び羽毛ふとんに仕立てる。従業員は地元で雇用し、2023年初旬から本格的に稼働する。年々稼働を高め、3年をめどに年間2千枚超の受注へつなげる。

設備投資額は5千万円。事業費の3分の2が補助される経済産業省の事業再構築補助金を活用した。岡田源一社長が5年ほど前からリフォーム工場の構想を練ってきた。これまで羽毛ふとんのリフォームは協力工場に外注してきたが、自前で設備を持つことで対応力を高める。作側の責任として資源を循環させることが大切。循環型社会に必要な企業になることで存在価値が高まる」と強調する。

本社のある亀岡市ではコスト面を含めて適地がなかなか見つからず、知

サステイナブルなモノ作り推進



洗浄した羽毛を再充填

り合いから紹介してもらった徳島に設けることを決めた。車で2時間程度の距離で、スームを使うことで本社などのゴミユニケーションにも不便を感じない(岡田社長)と言う。リフォームは関西や中国、東海地域を中心に受注する考えだ。同社は1932年に金柵商店を設立したのが始まり。64年に亀岡市に羽毛工場を新設し、寝具製造卸として業績を伸ばした。しかし、2000年に民事再生法を申請し、01年に新生・京都金柵として再始動した。現在の年間売上高は約5億円。羽毛ふとん1枚ごとにきめ細やかに対応する点が主販路の寝具専門店などから支持を受ける。生地から側(中わた)を入れる前の半製品)を製造する縫製機能を持つ点が強みの一つで、キルティングや羽毛充填(じゅつてん)量を1枚ごとに対応できる。亀岡の工場には羽毛吹き込み機3台、ロンクアームミシン3台、コンフォーターミシン1台、2本針ミシン2台、他ミシン5台などをそろえ、熟練スタッフの手で1枚ずつ仕上げる。側は、マスのサイズをコンピュータで設定し、コンフォーターミシンで仕立てる。羽毛ふとんは、350を超える有害化学物質が対象となる厳しい分析試験をクリアした製品だけに与えられる世界最高水準の安全な繊維製品の証「エコテックスタンダード100」認証を2022年5月に取得し、現在市場調査中で23年3月に新製品を発表する。人そして環境に優しいモノ作りを追求する。

循環型社会に必要な企業へ

一枚一枚心をこめて。丁寧なものづくりを。

京都金柵はSDGs宣言をして企業活動を行います。ものづくりを担う企業としての責任を真摯に受け止め、羽毛再生事業、またエコテック認証商品の開発に積極的に取り組み、地球に優しい羽毛ふとんを生み出して参ります。

安心安全な未来のために。



株式会社 京都金柵
〒621-0003 京都府亀岡市千歳町同分中島2-1 TEL 0771-22-9735

創業90周年—羽毛ふとんを作り続けて58年。

積み重ねた経験で、お客様の様々なご要望にお応えし、羽毛ふとんオリジナル品を一枚から承ります。

京都金柵

kyoto kanemasu
SINCE 1932



女性社員が立ち上げたプライベートブランドAble Futureは2023年で25周年を迎えます。natural & eco.mind をコンセプトにかわいい、便利、心地いいがたくさんあったアイテムをこれからも発信していきます。

